

ジョージア政治・経済 主な出来事

【2015年8月31日～2015年9月6日】

〔当地報道をもとに作成〕

平成27年9月9日

在ジョージア大使館

1. アブハジア・南オセチア

【アブハジア】

▼ガリ地区でのジョージア語教育(9月2日)

・これまでジョージア語で教育が行なわれていたガリ地区の学校では、ジョージア語による教育が禁じられ、ロシア語の教育が始まった。ジョージア語は「外国語」として週に1時間教えられる。

▼トルコ・コジャエリ県知事がアブハジアを訪問(9月2日)

・トルコのコジャエリ県知事がアブハジアを訪問。ハジンバ「アブハジア共和国大統領」と会談。

・ジョージア外務省は駐ジョージア・トルコ大使を召致し、トルコ外務省に対する抗議書簡を手渡した。駐トルコ・ジョージア大使によれば、トルコ政府は訪問を承知していなかった。

・コジャエリ県にはアブハズ人住民が多い。

▼ジョージア支配地域からの「外国人」の入国の制限(9月3日)

・アブハジア「当局」は、今後、国際機関の職員を除く「外国人」の入域を原則としてロシア側からのみ認めると発表。

2. 外 政

▼ノルウェーの外相がジョージアを訪問(9月4日)

・ブレンデ・ノルウェー外相がジョージアを訪問し、マルグヴェラシヴィリ大統領、ガリバシヴィリ首相、ヒダシェリ国防相と会談。ジョージア外務省の年次大使会議に参加し、南オセチア行政境界線付近のフルヴァレティ村を視察した。

・クヴィリカシヴィリ外相との会談では、政治・貿易・経済・エネルギーなどの分野における両国間の協力、ジョージアの被占領地域の現状、ロシアとアブハジア・南オセチアの「協定」などについて議論。両外相はジョージア・ノルウェー間の査証手続きの簡素化に関する合意に署名した。

3. 内 政

▼国会補欠選挙の日程が発表される(31日)

・中央選挙委員会はマルトヴィリ地区およびサガレジョ地区での国会補欠選挙を10月31日に実施すると発表した。マルトヴィリ地区選出の議員(統一国民運動)の死去とサガレジョ地区選出のヒダシェリ元議員の国防相就任によるもの。統一国民運動と自由民主主義者党を含む

11の政党は選挙への不参加を既に表明している。

・31日、与党連合は両地区の候補者を発表した。

・10月31日にはドマニシ地区、ヴァニ地区、ホビ地区、サガレジョ地区の地区議会の補欠選挙も行なわれる。

▼外相、経済・持続的発展相の交代(9月1日)

・ガリバシヴィリ首相は、クヴィリカシヴィリ経済・持続的発展相が外相に就任すると発表。「ク」新外相はこれまで通り副首相を兼任する。新しい経済・持続的発展相にはクムシヴィリ・トビリシ副市長が任命された。「ガ」首相は、「ベ」前外相の今後の職務については「ク」新外相が決定すると述べた。

・5名の外務次官は全員が留任。

・9月2日、年次大使会議で挨拶した「ク」外相は、ジョージアのEU・NATO加盟を目指す方針は不可逆なものであるとして、EUとの連合協定の実施とDCFTAの活用、EUとの査証自由化手続きの完了を優先課題に挙げた。また、被占領地域の不承認政策や米国との戦略的パートナーシップ、ロシアに対する「実用的な政策」の継続、輸送回廊としてのジョージアの可能性の活用などに言及。

▼ジョージア沿岸警備隊の接岸施設の開設(9月3日)

・米国の1400万ドルの支援によってバトゥミに建設されたジョージア沿岸警備隊の新たな接岸施設が開設。一度に最大15隻の船を停泊させることができる。

・在ジョージア米国大使館は、「新たな接岸施設はジョージア沿岸警備隊が海上の脅威に素早く対応する能力を大きく向上させる」「接岸施設の建設は米国とジョージアの実りある安全保障協力の賜物である。船の現代化と港湾施設の改良を通じて、米国とジョージアは協力して黒海地域の海上の安全を強化している」との声明を発表。

・改装されたP-103警備艇がジョージアに寄付された。

▼国会が国立銀行の権限に関する法律改正を再可決(9月3日)

・国会は、7月31日に大統領が拒否権を発動した、金融セクターの監督機能をジョージア国立銀行(NBG)から新設される「金融監督庁」に移す法案を、賛成81名を以て再承認した(再承認には最低76名の賛成が必要であった)。野党は反対票を投じた。

・前日の国会での審議で法案の提出者の一人であるメチアウリ予算・金融委員会委員長が大統領を揶揄する発言を行なったことについて野党のみならず与党連合内からも批判が相次いだ。

・再承認された法案は大統領が署名を拒否すれば、国会議長による署名により発効するが、マルグヴェラシヴィリ大統領は「国会の意見を尊重して」署名する意向を示した。

▼国会が憲法改正委員会の任期を延長(9月4日)

- ・国会は憲法改正委員会の任期を2016年2月29日まで延長することを決定。任期の延長は既に3度目。
- ・前回2月に2015年9月15日までの延長を決定した際、ウスパシヴィリ国会議長は、9月15日までに改正案を提出できなければ現国会で承認までの手続きに至ることは難しいと述べていた。

▼トビリシ副市長の任命(9月5日)

- ・トビリシ市議会は、経済・持続的発展大臣に就任したクムシシヴィリ前トビリシ市副市長の後任として、アバシゼ・トビリシ市ヴァケ地区長(元大統領府事務局長)の任命を承認。

4. 経 済

▼2015年7月のGDP成長率(31日)

- ・国家統計局が速報値を発表。2015年7月の実質GDP成長率は前年同期比3.0%。2015年1月～7月の実質GDP成長率の平均は前年同期比2.6%。

▼ネンスクラ水力発電所の着工(31日)

- ・スヴァネティ地方で出力380MWhのネンスクラ水力発電所の建設が開始された。2019年に運転を開始し、2021年に完成予定。最大で毎時12億kWhの電力を生産する。韓国水資源公社がパートナーシップ基金とともに投資者となり、Salini Impregilo社が建設を実施する
- ・プロジェクトの実施に関する署名式で「ガ」首相は、「ネンスクラ水力発電所によって冬の電力輸入が不要になり、

ジョージアのエネルギーシステムの安定性・独立性が向上する。独立ジョージアの歴史においてこのような規模の水力発電所が初めて建設される」と述べた。

▼2015年1月～8月の入国者数(9月2日)

- ・内務省の発表した資料によれば、2015年1月～8月の入国者数は3,922,376人で前年同期比6%増。8月の入国者数は852,377人で同10%増。8月中の入国元別では多い順にトルコ(前年同期比10%減)、アゼルバイジャン(同7.9%増)、アルメニア(同24.7%増)、ロシア(同23%増)、ウクライナ(同5.6%増)。

▼2015年8月のインフレ率(9月3日)

- ・国家統計局が速報値を発表。月間インフレ率は1.0%。食料品・非アルコール飲料の価格が2.0%上昇。
- ・年間インフレ率は5.4%。過去4年間で最高を記録。アルコール飲料・タバコの価格が6.3%上昇。医療費が9.1%、食料品・非アルコール飲料の価格が13.1%上昇。

▼電気料金の値上げ(9月3日)

- ・エネルギー・水供給調整委員会は、テラス社が申請していた電気料金の値上げを許可。1kWh当たり0.035～0.045ラリの値上げとなる。
- ・テラス社はトビリシ市内の約524,500件の契約者に電力を供給している。株式の75.1%を露国有企業Inter RAOが、残りをジョージア政府が保有。